

回 覧																				

大分中央地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第2号

発行：令和3年2月1日 大分中央地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

中央地域が目指す将来像（ビジョン）へ向け

1月4日 大分中央地域まちづくりビジョンフォローアップ会議を開催

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、地域が目指すまちの将来像(ビジョン)やその実現に向けた取り組みをまとめた「**地域まちづくりビジョン**」。

この度、ビジョンの実現に向けて市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため今年度の**フォローアップ会議**が開催され、ビジョンに掲げる事業の進捗状況を報告し、その進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行いました。

大分中央地域まちづくりビジョンフォローアップ会議
令和2年1月4日(水)14:30
大分市役所本庁舎8階 大会議室

～議事～

地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について

- ① 提言1「地域全体の回遊性の向上」関連事業
- ② 提言2「コミュニティの深化」関連事業
- ③ 提言3「安全・安心なまちづくり」関連事業

大分中央地域の
将来像(ビジョン)

歴史・文化と商都のにぎわいが融合する回遊性の高いまちを、幅広い世代・地区で育む中央地域

中央地域では、将来像の実現のために以下の「3つの提言・24の提案事業」に取り組んでいます。

提言1「地域全体の回遊性の向上」関連 13 事業	提言2「コミュニティの深化」関連 6 事業
1.周遊観光ルートの整備 2.鉄道残存敷の活用 3.歩いて楽しいまちづくり 4.バランスのとれたまちづくり 5.遊歩公園の整備・活用 6.大分城址公園の整備・活用 7.大友氏遺跡公園の整備・活用 8.祝祭の広場の整備・活用 9.荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 10.公設地方卸売市場の利活用促進 11.観光施設の誘致 12.歴史・史跡を生かした観光の促進 13.歴史・史跡を生かした観光ツアー	1.荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 ※再掲 2.若者が地域行事に参加できる体制づくり 3.地域の伝統行事の活用 4.史跡サポーターの育成 5.子ども食堂の運営 6.次世代の地域リーダー育成
	提言3「安全・安心なまちづくり」関連 5 事業
	1.防災・防犯意識の向上 2.災害情報の共有システムづくり 3.荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 ※再掲 4.若い防災リーダーの育成 5.避難しやすいルート整備

議事①：提言1「地域全体の回遊性の向上」関連事業の進捗について

特色ある施設を活用し、 更なる回遊性の向上へ

地域の特色である中心市街地や大分城址公園等歴史施設を活用し、地域の回遊性の向上を目指す提言1。委員からは周遊観光ルートの充実や、令和6年度より供用予定の荷揚町小学校跡地複合公共施設整備についての意見交換が行われました。

取組状況の報告（ソフト事業）

【観光】大分市まち歩きガイドブック／大分上野エリア発見マップ／観光パンフレット／観光ボランティアガイド／ガイドツアー／観光案内所／エアライナーラッピング広告【歴史】史跡めぐりイベント／史跡ボランティアガイド／宗麟公まつり／遺跡説明サイン【交通】大分きんばす／シェアサイクル【にぎわい】ラグビーW杯イベント／パブリックビューイング【その他】公設市場のあり方検討 など

取組状況の報告（ハード事業）

- ◆祝祭の広場…令和元年8月に整備が完了し、9月から供用開始。11月から一般貸出を開始。令和2年10月に大型LEDビジョンの設置が完了。現在、多くのイベント等に利用されている。
- ◆鉄道残存敷(日豊本線東側)…令和元年度に広場の整備を完了。
- ◆大友氏遺跡公園…令和2年度3月に「大友氏館跡庭園」が完成し、6月から一般公開を開始。
- ◆大分城址公園…令和元年度まで大手口や帯曲輪などの短期整備を実施。令和2年度から史跡整備に向けた文化財の発掘調査等は、新型コロナウイルスの影響により延期しており、文献資料調査のみ実施している。
- ◆中島錦町線…令和2年度のポケットパーク施工工事にて事業を完了。
- ◆荷揚町小学校跡地複合公共施設…整備に向けて、令和2年度8月に入札公告、公募を開始し、年度内に事業者を決定する。令和6年度に供用開始予定。災害対策本部機能を有する施設を含めたり、大分中央公民館の機能を移転することとしている。
- ◆遊歩公園…歴史・文化観光拠点を結ぶ路線としての景観整備を行うため、地元協議を行う。

意見交換

荷揚町小学校・中島小学校跡地の整備

- ★荷揚町小学校跡地複合公共施設が供用開始されるまでの間、引き続きミーティングルームを地元、地域で利活用できるようにしてほしい。
- ★中島小学校跡地については、防災のために地元で活用したい。活用が可能であれば、整備を早めにしてほしい。
- ★中島小学校跡地については、防災訓練の際など、内部の移動がうまくできない部分があることから、整備をお願いしたい。

周遊観光ルートの整備

- ★大分駅から大友氏館まで、実際に自転車でも回ってみると移動が容易でない部分がある。更なる回遊性の向上に期待したい。
- ★城址公園から遊歩公園や滝廉太郎像を始めとする歴史文化が多数ある。その歴史を辿り、大きく回遊するルートを目指してほしい。
- ★中島錦町線については非常によく整備されている。旧町名の標識や大友館のサインなどいろいろあって面白いので、県内外の人が訪れてほしい。

荷揚町小学校跡地複合公共施設整備の進捗

平成30年度：基本構想
令和元年度：公募仕様書等作成
令和2年度：入札公告、公募開始、事業者決定
令和3年度：事業契約、実施設計開始
令和4年度：着工予定
令和5年度末：完成予定
令和6年度：供用開始予定



滝廉太郎像

議事②：提言2「コミュニティの深化」関連事業の進捗について

コロナ禍での地域行事に関心

コミュニティの活性化に関する提言2。今年は新型コロナウイルスの影響により多くのイベントが中止を余儀なくされています。コロナ禍での地域行事とはどうあるべきか、ということに関心が集まりました。

意見交換

コロナ禍でイベントを行うためのサポート体制強化が必要

- ★web上やリモートで活動を行うことに対する、技術的なサポートが必要ではないか。
- ★三密を避けるため、大きな会場を使用する場合の、施設の使用料などの補助があれば、ありがたい。
- ★公共の施設の提供などを行政がすることも有効ではないか。

私たちの地域行事への取り組み方の発表

- ★金池校区では9月にサプライズ花火の打ち上げを行い、密集を避けつつ多勢の住民が楽しむことが出来た。
- ★神輿を台に載せて地域を回るなど、工夫して祭りを行った。
- ★祭りそのものは中止になったが、地域についての知識を深めるための研修会を行った。
- ★子ども食堂を商工会議所青年部の方に手伝ってもらった。

取組状況の報告（行政の取組）

地域コミュニティネット／ご近所の底力再生事業／大分市自治会連合会運営費等補助金制度／地域まちづくり活性化事業／地域づくり交付金／地域伝統文化応援事業／大友宗麟副読本／FUNAI ジュニアガイド／地域多世代ふれあい交流事業／子どもの居場所づくりネットワーク推進事業／傾田伝統文化教室など



取組状況の報告（地域の取組）

【自治会】交流ひろば(城崎町)／名月鑑賞・三世代交流(錦町1)／町内菜園(上野丘1、顕徳町、錦町2、中島西)／ふれあいウォーキング(新川町)／餅つき／子どもみこし(府内町2・3)など【子ども会】新入生を迎える会／廃品回収／ラジオ体操／6年生を送る会／地域のお祭り参加／そうめん流し／町内運動会参加／クリスマス会【校区】ながはまの夏(長浜校区)／ふれあい夏まつり(金池校区)／子どもまつり(住吉校区)／校区公民館まつり(長浜校区、住吉校区)【子ども食堂】子どもの居場所づくりネットワーク加入団体による開催(金池こどもみんなの広場)【その他】地区自治会連合会・校区自治会連合会設立 など

より地域の伝統を 広めるために

地域行事を盛り上げていくためには、行事そのものの周知や、次世代の地域リーダーの育成が必要である。そのためにはどうすべきか？様々な意見が交わされました。

意見交換

地域の伝統行事の活用

- ★以前神輿を美術館に展示したところそれを見た人が実際にお祭りに参加したりしていた。公共の施設で祭りに触れられる機会を設けられれば、より伝統行事を身近に感じられるのでは。
- ★大分に800年も前から疫病退散を謳う祇園祭がある。それを活用すれば、地域の皆さんをつなぐことができるのではないか。
- ★子どもは小学生のときには地域行事に参加してくれるが、成長するとともにどんどん地元から離れていってしまう傾向がある。地元で家を建て継続して住むことができるような行政のサポートが欲しい。
- ★文化遺産活用事業など国の補助金を積極的に活用すべき。

議事③：提言3「安全・安心なまちづくり」関連事業の進捗について

災害に備えて 何ができるか？

いつ起きるかわからない自然災害。そして、コロナ禍における避難所運営。大分中央地域として、行政として、何ができるのか。さまざまな意見が交わされました。

意見交換

防災に関して

- ★風水害や大震災だけでなく、火災なども災害の一つ。この場合の被災者の受け入れ先として避難所を解放してほしい。
- ★今後は新型コロナウイルスへ対する安心、安全も求められる。中央地域はビジネス街・繁華街といった一面があるので安心、安全をよりアピールできれば。
- ★新型コロナウイルスの関係で防災士試験の回数が減ってしまった。自主防災組織には年配の方が多いので、若い防災士を育てるためにも、試験の開催回数を増やしてほしい。
- ★コロナ禍で防災訓練が行えないことも現実としてある。帰宅困難者などを考えたとき、どのようにできることをすべきか考える必要がある。

取組状況の報告

【防災】大分市シェイクアウト訓練／避難マップ作成支援／防災訓練企画支援／大分市洪水ハザードマップ／まちづくり出張教室／AR洪水ハザードアプリ／防災情報の発信／防災士養成／津波避難ビル・津波避難場所の指定【防犯】防犯知識の普及啓発／まもめーる【地域】校区防災訓練／自主防災会毎の防災訓練／地域での助け合い体制づくり(避難行動要支援者)／避難行動計画／子どもに対する防災教育／緊急時連絡体制の構築 など



昨年度行われた地域の防災訓練

これから 整理・総括

- 地域・行政が互いにこれまでの取り組みを報告し、将来像の実現に向け現状を認識し、方向性を確認しました。
- それぞれの取り組みについて、現段階で既存の計画や事業があるものについては、これを継続して進めていきます。
- 位置づけがないものについても、今後、フォローアップ会議や行政の関係部局において検討を続けていきます。
- 今後も定期的なフォローアップ会議の開催により、地域・行政が意見をキャッチボールしながら、将来像の実現に向けて歩みを進めていきます。
- 今後は、アフターコロナ、ウィズコロナのまちづくりに取り組んでいく必要があります。

お知らせ

■大分中央地域 ふれあい市長室を開催しました

日時：11月24日(火) 10:00～

場所：金剛宝戒寺敷地内アトリエ

「大分中央地域まちづくりビジョン」に関わる団体である「金池子ども・みんなのひろば」から多世代交流に向けた取り組みなどの活動報告を市長が受けるとともに、取り組みの

課題等について意見交換をしました。

